

山王小学校 不祥事防止対策について

取手市立山王小学校
校長 西尾 直美

教職員による不祥事は、児童生徒、保護者はもとより地域を含む茨城県民、更には日本国民全体の学統教育に対する信頼を著しく損なうものであり、不祥事根絶に向けた取り組みを徹底することが求められています。そこで、本校では全教職員が不祥事根絶に向けての責任と自覚を再認識し校務に取り組むべく下記のように取り組んでいます。

記

1 不祥事根絶に向けた定期的な「校内コンプライアンス研修」の実施

教職員のコンプライアンスに反する不祥事には、飲酒運転、わいせつ、各種ハラスメント、体罰等不適切な指導、個人情報漏洩、交通事故や違反など様々なものがあります。

これら各事案について、研修実施内容に不足がないよう「コンプライアンス研修計画」を作成し、教職員がペアで各事案の事例についての研修会を担当し定期的な「校内コンプライアンス研修会」を実施しています。

「校内コンプライアンス研修会」では、各事案の研修担当の教職員が作成した資料を中心に「コンプライアンスファイル」や「危機管理マニュアル」等も活用しボトムアップ式の研修を実施し、教職員が「自分事」と捉え研修を行えるよう実施しています。

さらに管理職は、各事案に対し法的な立場からの指導助言を併せて行っています。

2 不祥事関連の通知・通達や最新のニュース等を利用したタイムリーな研修の実施

教職員の不祥事に関する報道や県・市教育委員会からの不祥事に関する通知・通達を確認した場合には、報道内容や通知・通達内容を活用した事例研修を速やかに行っています。実際に直近で起こった不祥事を研修内容として取り扱うことにより、「自分事」として置き換えた研修を行うことができます。

3 チェックリスト等を活用した定期的な自己点検の実施

教育公務員として不祥事の原因が何なのかを考えるとともに、自分自身の行動や意識に問題がないかを振り返ることが不祥事防止対策を推進する上で必要となります。そこで「信頼される教職員・学校を目指すセルフチェックシート」「安心・安全な学校生活のためのチェックリスト」「不祥事防止のためのチェックリスト」等を定期的実施し、教職員が自己点検を行っています。

さらに、随時発出される「学校における不祥事根絶に向けた取組の徹底について」等の通知文で示された対応策についても、組織として迅速に確認し点検を行っています。

4 管理職による定期的・随時の個人面談の実施

日頃の教職員の行動や意識を把握するとともに教職員の個人的な悩みやストレスが不祥事につながらないように、管理職による定期的な面談を実施しています。また、日常的な随時面談も実施し、教職員への助言や相談などの支援も細かに行っています。

以上のように、取手市立山王小学校では、教職員全員が一丸となって不祥事防止に向けて取り組みます。

また、教育目標である『みんなでつくろう 笑顔あふれる 山王小』の達成に向けても努力してまいります。